

ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝

課題研究 企業訪問

3年生のあるグループが市場調査を目的に、実際の企業にアポを取り、インタビュー調査に行ってきました。お忙しい中にも関わらず、時間を割いて頂きありがとうございました。アンケート調査とは違って、質問への回答に対して新たな疑問が湧き、再度質問へと、予定以外の質問にも答えて頂きました。付き添いという形で同行させて頂いた私にとっても貴重なお話を伺うことができました。同業他社への訪問で、同じ内容の質問をしておりましたが、回答が共通であるものと、企業によって異なる回答があるなど興味深く感じました。また、質問への回答の中から、サービス業としての責任ややりがいなどもお聞きすることができました。

このグループの研究テーマは、この紙面では伏せておきます。気になる人は、情報処理やビジネス情報で3階の教室まできたときに課題研究掲示板の「企画書」と「企画報告書」をチェックしてみましょう。

(高体連期間の特別日課の午後に訪問)

他のグループも、試作やブレインストーミング等で研究を進めています。この一年間でどんなことを学び、そしてみんなの前で発表してくれるのか、今からとても楽しみです。



今月は検定三連発!!



珠算・電卓実務検定 16日(日)
簿記実務検定 23日(日)
ビジネス文書検定 30日(日)

先日2年2組の授業に行ったとき、黒板の隅に「〇〇検定まで、あと〇日!」と書かれてありました。「あと〇日」の日付の部分だけが、何度も書き直された跡が見られました。頑張ろうという気持ちが伝わってきます。2年生にとっては多くの人が3週連続の受験になります。申し込んだからには頑張りたい。そして、頑張るからには合格しましょう。

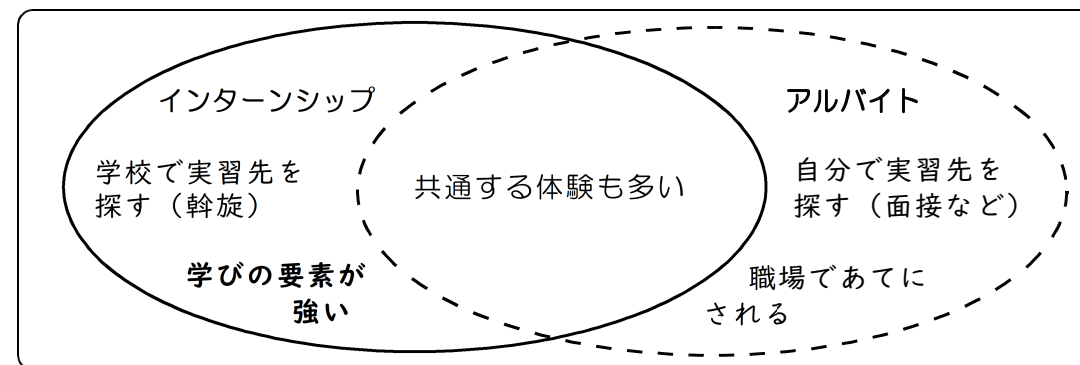
検定当日は受験票を含めて忘れ物のないように注意してください。電卓の検定試験で電卓を忘れてくるようでは困ります。中間考査が終わったばかりですが、勉強のリズムはそのまま6月の検定シーズンを乗り越えましょう。

インターンシップって何?

右の写真は昨年実施したインターンシップの様子です。3年生にとってはインターンシップは懐かしいイメージなのではないでしょうか。1・2年生にとってはそういった行事があることはなんとなく知っているという認識でしょう。

インターンシップとはキャリア教育の一環として、「働くとは何か」を体験的に学ぶことです。1年生ではビジネス基礎、2年生ではビジネス実務などで、知識としてビジネスとは何かを学んでいますが、実際の社会ではどのような意識で仕事に取り組んでいるのかを、商業を学ぶ高校生の視点で学習してきます。ですから「行事」というのとはちょっとニュアンスが違うものだのとらえてください。

また、キャリア教育をいわゆる就職指導そのものだと誤解している人も多いですが、むしろ進学を含めた進路指導の一環であると考えてください。皆さんの中には、高校を卒業してすぐに就職する人もいるでしょうし、大学等に進学してから就職する人もいるでしょう。つまり、**ほぼ全ての人がいずれ就職をするという観点から高校生の段階でインターンシップを実施**しています。(その観点から全ての高校生が実施すべき学習なのです)



左の図の中に入る「共通する体験」とはどんなものでしょう。

インターンシップを経験してから顔つきが大人になる生徒がとても多いです。

上の表のように、インターンシップとアルバイトでは共通する体験も多いです。しかし異なる部分もあり、学校としては「学びの要素」の部分重視しています。実習先の企業にもその趣旨を理解して頂いて実施しております。事前指導と事後指導までの一連の体験から多くのことを学び取って欲しいと思っています。

学校として、アルバイトに関しては積極的に奨励していません。(禁止はしていません。また、アルバイトがダメだと言いたいわけではありません。) その理由は、高校生のうちにまずすべきことは勉強であると考えているからです。勉強以外では、部活動や、資格取得、学校祭等の行事への積極的参加も高校生のうちに経験させたいとの想いがあるためです。

